

君津中央公民館だより(ひこばゆ)



台風通過後

君津中央公民館
倒木

小糸川ふれあい橋付近

いつもの様子

台風15・19・21号の被害にあわれた
皆様に謹んでお見舞い申し上げます。避難所開設と
支援物資配布

災害を学ぶ

10月18日、幼稚家庭教育学級「つくしんぼ広場」にて赤十字奉仕団の皆様にご協力いただき、「もしもの時に備えて防災を学ぼう!」と題した講座を開催しました。

15号・19号の台風で被災した直後だったこともあり参加者の意識が非常に高く「事前に準備しておくことが大切だと感じた」等の感想が多く寄せられ、実践的かつ普段の生活にも大変役立つ講座となりました。

今回私たちは3つの台風を経験したことによって自然災害の脅威を痛感し、命をそして家族を守るために何が大切なかを再認識したのではないかでしょうか。二度とあって欲しく無い災害ですが、万が一のために日頃から意識して備えていきましょう。

9月9日の台風15号直撃から相次ぐ台風と記録的大雨により、君津市内全域が大規模な停電・断水・河川の増水など甚大な被害を受けました。各所で電柱が倒れ、家屋が損壊している様子が散見され、地域の皆さんも不自由な生活を余儀なくされました。

また館内では、多くのボランティアや他の体育会員のお力を借り、ブルーシート、土嚢袋、飲料水、食料品等の支援物資配布を継続して行つてきました。

**お力添えをくださいました
全ての皆様に
心より感謝申し上げます**

発行
君津中央公民館
君津市久保2-13-2
TEL 0439(50)3988
FAX 0439(54)9888
発行責任者
川名 獻



文化祭を終えて

文化祭実行委員長
川名 獻

していきたいと思いました。

今回の文化祭は、2度の台風と大雨により公民館の積極的な活動や努力により開催できることは良い経験となりました。また、文化祭の目玉で

10月26日は前日までの大雨

津中央公民館が長い期間(合計29日間)休館となっていた

が、晴々しい朝となりました。

関係者が協力して手際よくテントや休憩所の設営など館内外の準備を整え、定期的に文化祭が開幕しました。今年度の文化祭にあたっては、度重なる台風の影響で君津中央公民館が長い期間(合計29日間)休館となっていた

が、晴々しい朝となりました。状況の中、直前まで役員の皆様と協議を重ねた結果「限られた準備期間のため無理をせず、今できることをできるだけ実施しよう」と開催を決定しました。

決まりで実施しよう」と開催を決意しました。模擬店分野のおかげであり、本当にありがとうございました。これは関係者をはじめ公民館職員や各サークル及び支援団体の方々の前向きな活動のおかげであります。本当にありがとうございました。この文化祭が来場者や各サークルの皆様方の心に響き、新たな気付きを与える契機になりました。

得、今後の課題も気付かせていただきました。模擬店分野の衛生管理面での対応や文化祭活動の進め方等です。これらの課題は、次回の文化祭に活かせるよう繋いで行きたいと思います。

みんなが主役、
地域と交わる文化祭

4つの目標

①公民館利用団体全体が参加し、創り上げる文化祭とする。

②主催事業 サークルおよび団体の一年間の活動の成果を発表し、次の飛躍の場とする。

③主催事業 サークルおよび団体が相互に文化交流を深め、同時に、連帯意識を作る場とする。

④地域住民が公民館活動への理解を深め、公民館事業やサークル活動に参加する契機とする。

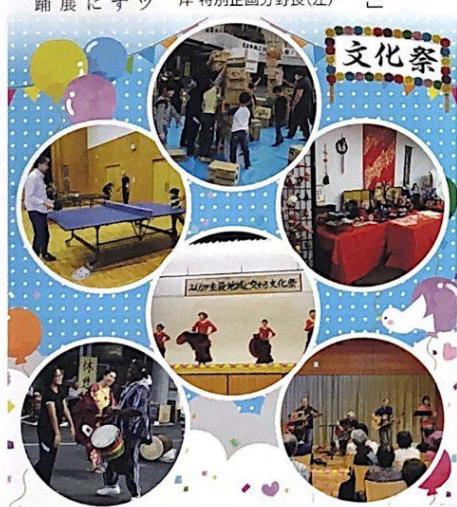


今年の活動を振り返って

上総駿追駅は、三三鉄道フェスティバル(三三鉄)に参加して、した子どもたちが青い車ベル体験、鉄道部品やグッズの展示などをいました。昨年から三三鉄の運営に加わり、今年は文化祭にも参加しました。

地域に暮らす様々なルートを持つ人たちが、暮らしやすい街にするため、国際理解に関するディスカッションや展示、そしてギニアの大鼓と踊りの披露を行いました。

日本のおたましまえのアタリマエ 井手淑子氏(右) 岸特別企画分野長(左)



特別企画
「知ることからはじめる
日本のあたりまえ
外のアタリマエ」

私たちとは昨年と同様に鉄道模型の体験運転をはじめ、発車ベル体験、鉄道部品やグッズの展示などをいました。昨年から三三鉄の運営に加わり、今年は文化祭にも参加しました。

私たちがこれまで幅広く好評をいたしました。鉄道模型に興味を持ったり、新たな発見があれば嬉しい限りです。

また、今年は文化祭にも参加し、より多くの方に鉄道の魅力をお伝えきました。

今後も運営を工夫して、児童向けの体験や、保護者が子どもを撮影できるスペースを設けたいと考えています。

来年も、地域の皆さんと協力してイベントを盛り上げら